

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第40号

# 剣道だより (KENDO Nagasaki)



## 『芒種なり 水盤(すいばん)に粟 蒔くとせむ』……草間時彦……芒種(ぼうしゅ) >

『芒種なり 水盤(すいばん)に粟 蒔くとせむ』水盤(すいばん)は浅く水を張るお盆のことです。ここでは粟を栽培するために利用しています。粟はかつて雑穀の一種として盛んに栽培されていました。6月に入り雨の日が増え、じめじめした梅雨の気配を感じる頃となりました。今年は6月5日から6月20日頃までの時期を24節気での「芒種」といいます。この頃にカマキリの卵から幼虫が孵化します。カマキリは農作物をあらず、害虫を捕まえる益虫としての一面もあります。また穀物の種まきや麦の刈り取り、苗の植え付けなど忙しい時期です。「芒(のぎ)」とは稲科の植物の穂先の棘状の突起部分で、鳥獣による害から種子を保護し、また動物の毛や衣服に絡まり種子を拡散する役割があると言われています。

### 水無月(みなづき)

旧暦6月は田植えの季節。渴いた田んぼに水を入れる頃でもあり「水無月」「水月(みなづき)」「水張月(みずはりづき)」などと呼ばれました。梅雨明けで日照りが続く時期、稲が実を結ぶために重要な水を願う人々の思いが表れているのだと言われています。稲の穂先のような形を「芒(のぎ)」と呼び、稲や麦などの種をまくことから「芒種」と呼ばれるようになりました。現在ではもっと早い時期に種がまかれますが、農業が活発になり梅雨に向けて雨雲も増えてくる時期です。



花菖蒲：大村公園にて

## 報告(1)・・・令和6年度剣道審判講習会報告

令和6年5月6日(月/祝)諫早中央体育館(メインアリーナ)において標記の講習会が実施されました。講師の剣道教士七段岡島正己先生より剣道試合・審判法の留意点についての講話と2会場に分かれての実技指導がありました。実技は全員が選手と審判に分かれ、岡島先生・藤原先生を中心に丁寧に指導して頂きました。本講習会は会員の皆さんの関心度も高く、参加者は173名と近年の講習会としては最高数となりました。

<講習会参加者> 受講者 157名+講師・県連役員 16名 合計 173名

受講者詳細:3段(5名)、4段(10名)、5段(25名)、6段(33名)、7段(81名)、8段(3名) 役員:7段(11名)、8段(5名)



灰谷達明会長 挨拶



講師：剣道教士七段 岡島正己先生



講習会には173名の参加がありました



審判講習会は2会場に分かれ実施



模擬試合も真剣に取り組みました。



審判講習も緊張気味です。

## 『剣道八段を拝受して』……剣道教士八段 平井節朗

### 集中力を増し、いかに攻めに徹するか…心の在り方を感じる立会い

京都に出発する2日前の少年剣道大会会場で、子どもさんの応援に来ておられた高校剣道監督さんに出会い、「平井先生、いつもと違う雰囲気がありますね。オーラを感じます」「いつもと同じですけどね」と、短い会話をしました。その3日後の午後、私は京都市体育館で二次審査を受けていました。



平井節朗先生

二次審査1人目の立会いでは、相手の初太刀の見極めに失敗しました。しかし、不思議なことにあせりはありませんでした。かえって集中力が増し、攻めに徹することができていたような気がします。中盤に差し掛かった頃と思いますが、自分でも会心と思えるような面打ちができていました。その後も集中力は途切れることなく攻めができていたと思います。ほどなく、1人目が終わりました。2人目が始まりました。相手に合わせた礼を心がけ、合気で立ち上がり、遠間から一足一刀の間合いでの攻め合いとなりました。約50秒の攻め合いだったと思います。相手もよく我慢されています。ここまで攻め合いが続いたのだ、ここで退いてなるものかと耐え忍ぶ刹那の打間で、無心の面打ちができていました。後ほどこの場面を見ていた長崎県剣士からは、間合いが近くになりそうだったと指摘を受けました。この2つの立会ではいい所も悪い所ありましたが、終わった後は充実感に満ち溢れていました。

### 「剣道の素晴らしさ、風流で優雅さがある日本人」…心に秘めた想い

私は訳ありで、62歳から受審を始め、69歳の最後に15回目で合格することができました。受審に際しては折に触れて、「若さを失うな」「打突をしっかりと」「先をかける攻め」「勝って打て」等々のご指導をいただきました。有り難かったです。私は小学校教員として、教諭18年間、教頭職7年間、校長職13年間。そして、12の学校を勤め上げました。転勤族ともいえます。新任校の世知原小学校時代には、少年剣道指導の合間に、車で30分離れた佐世保市に出稽古。1回の稽古で池田・岩永・三重野の三範士に掛かり、周りの人から「すごい」と言われたこともありました。2校目は、五島の緑ヶ丘小学校でした。近くに馬場武雄先生が指導されている西雄館がありました。馬場武雄先生は、「剣道の素晴らしさ、風流で優雅さがある日本人」等々の講話をされ、私は少年剣士たちとともに6年間聞くことができました。次の赴任地、島原半島では顔なじみの多くの先生方にお世話になりました。そして、新任校長として上五島に赴任した時は、峯利雄先生や地元の先生たちに4年間稽古等で歓迎していただきました。再度、島原半島に赴任した時は長崎国体強化選手指定され、最終的には大将の補欠でしたが、強化当初から本番当日まで関わることができ、大変充実した日々を過ごすことができました。

### 「感謝」と「剣道素晴らしさ」を地域剣道協会、少年剣道指導で貢献を続けたい

定年退職した2年後には、ねんりんピック長崎大会で優勝できました。全国教職員大会には27回出場させていただきました。団体戦で優勝1回、個人戦義務教育の部で優勝7回。大学選手権では4年生の時に個人優勝1回できました。これもひとえに島原市剣道協会や近隣の協会の皆さん、また、出稽古の際、受け入れていただいた道場や先生方。そして、私の出身道場である有明剣道振興会との関わりも含め、いろいろな出会いがあったからこそ。今回の昇段に繋がったものと感謝しています。もちろん、小学低学年の時竹胴をプレゼントしてくれた兄弟。そして、家族、すでに亡くなっている父母にも感謝申し上げます。

	<p>剣道八段審査会（京都）合格者 2024年5月1日 京都市体育館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>氏名</th> <th>年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道</td> <td>若生 大輔</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>山形</td> <td>貝田 裕昭</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>栃木</td> <td>藤原 真晃</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>千葉</td> <td>井谷 栄人</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>大阪</td> <td>成地 勉</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長井 祐二</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>栗田 英雄</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>長崎</td> <td>平井 節朗</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td colspan="3">以上、8名</td> </tr> </tbody> </table>	県名	氏名	年齢	北海道	若生 大輔	47	山形	貝田 裕昭	62	栃木	藤原 真晃	50	千葉	井谷 栄人	50	大阪	成地 勉	67		長井 祐二	71	広島	栗田 英雄	59	長崎	平井 節朗	69	以上、8名			
県名	氏名	年齢																														
北海道	若生 大輔	47																														
山形	貝田 裕昭	62																														
栃木	藤原 真晃	50																														
千葉	井谷 栄人	50																														
大阪	成地 勉	67																														
	長井 祐二	71																														
広島	栗田 英雄	59																														
長崎	平井 節朗	69																														
以上、8名																																
<p>教士八段 平井節朗先生</p>	<p>1日目 受審者 831人 合格者 8人 合格率1%</p>	<p>&lt;参考&gt; 2日目 受審者 889人 合格者 6人 合格率0.7%</p>																														